

小山市事務事業評価シート

平成30年度版

No. 44

1. 基本情報							
<1> 事業・業務名		道路後退用地整備助成事業			<2> 事業・業務の別		事業
<3> 選定基準		③ 平成29～30年度総合計画実施計画の計上事業			<4> 継続評価・新規評価の別		新規評価
<5> 総合計画基本計画での体系	大項目	5 災害に強く 快適で住みよい 夢を支えるまちづくり			<6> 担当部(局)		都市整備部
	中項目	5-3 みんなの暮らしを支える生活基盤整備			<7> 担当所属		建築指導課
	小項目	5-3-3 道路			<8> 担当係等		建築指導係
	施策	狭あい道路の整備					
<9> 根拠法令・計画等		小山市建築行為等に係る道路後退用地の整備要綱		<10> 関連・類似事業			
<11> 会計		一般 会計		<12> 予算科目		8 款 1 項 3 目	
<13> 実施期間		29 年度 ~ 29 年度		<14> 全体事業費		1,600 千円	
<15> 実施手法		補助金・負担金・貸付金等		「その他」の場合 ()			

2. Do - 実施 -									
<16> 事業・業務の概要		道路後退された用地の寄附または、無償使用承諾をしていただき、市が道路として無償で整備し、その部分を維持管理していくもの							
目的	<17> 事業・業務の目的	狭あい道路の解消を図り、災害に強く、安全で住みよいまちづくりの形成に資する							
	<18> 事業・業務の対象	幅員4メートル未満の狭い道路に接した建物を新築・増改築等する方							
手段	<19> 平成29年度の活動内容	広報及び窓口での周知活動							
	<20> 活動指標 (アウトプット)	指標名	単位	平成28年度		平成29年度			
				計画	実績	計画	実績	達成率(%)	
	広報掲載回数	回	1	1	1	1	100.0%		
成果	<21> 事業・業務の成果	後退用地部分の寄附に対する助成金申請件数							
	<22> 成果指標 (アウトカム)	指標名	単位	平成28年度		平成29年度			
				計画	実績	計画	実績	達成率(%)	
隅切り用地報償金申請件数		件			1	1	100.0%		
	後退用地助成金申請件数	件			5	6	120.0%		
コスト ～資源の投入量	<23> 投入指標 (インプット)	区分	単位	平成28年度		平成29年度			
				計画	実績	計画	実績	投入率(%)	
		コスト	千円	14,428	14,428	15,990	15,990	100.0%	
		事業費等	千円	0	0	1,600	1,600	100.0%	
		財源内訳	国・県補助金	千円					
			地方債	千円					
その他	千円								
一般財源	千円				1,600	1,600	100.0%		
人件費	千円	14,428	14,428	14,390	14,390	100.0%			
	正職員	千円 × 人役	7,214 × 2.0	7,214 × 2.0	7,195 × 2.0	7,195 × 2.0			
	他の職員	千円 × 人役	×	×	×	×			

3. Check - 評価 -

実績評価	妥当性	<24> 目的・対象の 妥当性	1.妥当である	理由	災害に強く、安全で住みよいまちづくりのためには、狭あい道路の解消は必要であり、目的・対象とも妥当である。また、申請件数からみても、周知方法等も妥当と考える。
		<25> 手段や実施手法の 妥当性	1.妥当である		
	有効性	<26> 成果の向上余地	2.向上の余地がある	理由	年度により申請件数にばらつきがあるため、引き続き周知活動を行い助成金活用を進めていきたい。
	効率性	<27> 事業費や人件費の 削減余地	1.削減の余地なし	理由	今年度の申請件数等から見て、削減の余地はないと考える。
	公平性	<28> 受益者負担の 適正化余地	1.適正	理由	道路後退用地の寄附に対する助成金であり、受益者負担等を鑑みても適正である。
	<29>総合評価	1.改善の余地なし	理由	道路後退された用地の寄附または、無償使用の承諾をさせていただき、市が道路として無償で整備し、その部分を維持管理していくことで、災害に強く、安全ですみよいまちづくりに繋がっているため、事業の継続が必要である。	

4. Action - 改善 -

事業の改善	<30> 事業の課題 事業の改善点 今後の進め方等	道路後退用地の整備事業は、安心して安全な街づくりを推進していく重要な事業であり、道路後退用地の寄附または無償使用の周知を広く行い、引き続き事業を推し進めていきたい。			
事業の方向性	<31> 1次評価	所属長	3.現状維持	理由	安全で良好な移住環境等の形成のために、道路後退用地の整備事業を活用し、引き続き、将来に向けた安全安心なまちづくりを推進していく必要がある。
	<32> 2次評価	所管部長	3.現状維持	理由	安全で快適なまちづくりを推進するために、道路後退用地の整備事業は引き続き必要な事業であり、小山市の災害に強く安心して住めるまちづくりの一環として取り組む必要がある。

5 Plan - 計画 -

事業の計画	<33>実施計画	・補助金を交付して、経費の一部を助成する。 ・広報等幅広い啓発活動を行う。	<35>コスト	区分	単位	平成30年度	平成31年度
	<34>活動・成果目標	助成件数の増加により、災害に強いまちづくりを行う。		コスト	千円	15,990	15,990
				事業費等	千円	1,600	1,600
				人件費	千円	14,390	14,390